

## 第1号議案

### 平成24年度事業報告

#### 概 要

平成24年度事業は、計画通り川崎市、横浜市、相模原市、神奈川県リハビリセンターの4か所において脊髄損傷者等及びそのご家族を対象にピアサポート相談会を実施したことが大きな転換点となりました。

5年前の平成20年度の実業計画では、「神奈川県リハビリセンターにおけるピアサポートモデル事業として、グループ相談会やロールモデルの派遣、個別訪問のピアサポート活動、などを神奈川県支部のピアマネージャーや支部役員によって毎月一回定期的に実施して行く」としていました。

しかし、支部では4回にわたり、神奈川県リハビリセンター側と話し合いが行われましたが、結局実現には至らなかった経緯がありました。

全脊連神奈川県支部の役割の一つであるピアサポート事業が広く県内の一般の脊髄損傷者を対象に本格的に始まった年度となりました。

全脊連本部の公益法人移行のための支部代議員の選出は、全会員に対して立候補の受け付けの通知を行いましたが、結局に立候補者が一人もいないという結果に終わり、支部総会では推薦と言う形で代議員4名とその補欠4名を選出しました。全脊連本部が現在の社団法人から今後公益法人に移行した場合には、これまでの支部長に代りこの代議員が全脊連の社員となり、全国総会の場などで発言権が得られるようになります。

神奈川県内における路線バスのバリアフリー調査研究事業」は、24年度事業で実施する計画でしたが、検討の結果改めて共同募金助成事業として25年度事業として実施する運びとなりました。

移動制約者である車いす使用者の自立や社会参加と言う大きな課題の解決には、公共交通機関の施設や車両のバリアフリー化は最も重要な要素となり、その整備状況が私たちの生活に大きな影響を及ぼすことになることから、神奈川県立保健福祉大学非常勤講師の藤井直人先生を講師に招きセミナー「交通バリアフリー化はどれだけ進んだか」を支部忘年会と併行して開催しました。県内の路線バスの調査を行うには、実際にバスに乗り込むことをはじめバス事業会社を訪問してアンケート調査を行うなどの企画を立て、その調査結果のバリアフリー化された路線バスの情報を車いす使用者に提供することが重要です。

また、その他支部が主催する催事や各協会が実施する催事は、会員やそのご家族にも気軽に参加できるようにご案内して順調におこなわれました。

## 1、～あなたの力になれます～

### 脊髄損傷者のための相談会の実施

～あなたの力になれます～『脊髄損傷者のための相談会』の開催は、永年に亘り脊髄損傷という重い障害と様々な困難を乗り越えてきた貴重な知識と豊富な経験を持つ当事者が、同じ脊髄損傷者等の精神的な支援と社会生活に必要なあらゆる情報を提供する相談会を実施し、脊髄損傷者が再び誇りある社会の一員として活躍できるよう支援して行くことを目的に事業を実施しました。

主催 (社) 全国脊髄損傷者連合会神奈川県支部

後援 神奈川県

協賛 一般社団法人 日本損害保険協会

(社) 全国脊髄損傷者連合会

#### 1、相談会開催期日及び会場

第1回 川崎市中原市民会館 第2会議室

平成24年11月11日(日) 13時～16時30分

第2回 相模原市けやき会館2階会議室

平成24年11月29日(木) 10時～13時

第3回 かながわ県民センター3階302号室

平成24年12月27日(木) 13時～17時

第4回 神奈川県総合リハビリテーションセンター4階会議室

平成25年1月26日(土) 10時～14時

#### 2、個別相談者合計11名

第1回2名 Aさん(女) 1級障害・Bさん(女) 腰髄損傷 1級障害

第2回2名 Cさん(男) 72歳とその妻 脊柱狭窄症

第3回1名 Dさん(女) 32歳 胸髄損傷及び全盲 1級障害

第4回6名 Eさん(男) 15歳とご両親 腰髄損傷

Fさん(男) 64歳とその妻 脊髄損傷

Gさん(女) 42歳 脊髄損傷

#### 3、支部出席者 延べ26名うちボランティア12名

第1回6名 山崎、赤城、澤藤、北島、妻屋、小島 ボラ3名

第2回6名 山崎、赤城、路川、澤藤、妻屋、小島 ボラ3名

第3回7名 山崎、赤城、路川、路川み、澤藤、妻屋、小島 ボラ3名

第4回7名 山崎、赤城、路川、路川み、澤藤、妻屋、町田 ボラ3名

#### 4、個別相談会の内容

神奈川県内4か所で実施した、平成24年度個別相談会では、脊髄損傷

者が6名と疾病障害当事者1名の計7名とそのご家族が4名の合計11名から相談を受けました。

そのうち在宅生活をしている障害当事者は4名で、3名は入院或いは施設入所者でした。

また、主な相談内容は、排泄管理、車いすの選び方、住宅改造、福祉制度の利用の仕方、自動車運転、労災補償制度、障害者スポーツ、車いす旅行、介護制度など日常生活全般、その他脊髄損傷に係る悩み等に対応しました。

いずれも、貴重な経験を持つベテランの脊髄損傷者延べ14名がそれぞれ担当を決め、傾聴の姿勢を基本に参加者の個別相談を受け、精神的な支援と必要なアドバイス、福祉情報や関係資料を提供しました。

## 5、実施に当たっての所感

神奈川県内の脊髄損傷者及び重度障害者とそのご家族を対象に神奈川県支部が初めて実施した個別相談会には、(社)全国脊髄損傷者連合会の研修を受講したピアマネジャーをはじめ、支部役員7名(うち女性3名)を中心にした相談支援体制を構築し、川崎市、横浜市、相模原市、神奈川県リハビリテーションセンターがある厚木市の4か所で実施しました。その広報にはピラ300枚を製作して支部会員約100名をはじめ、リハビリ施設など県内の福祉施設8か所や川崎市内の介護事業所を中心に配置したほか、相模原市の広報に掲載してもらうなど参加者を募りました。その結果、障害当事者7名とそのご家族の4名の参加に留まりました。

今回の相談会では、特に女性の排泄関係についての相談には同じ女性のピアマネジャーが担当することができたなど、その内容自体は有意義で相談者にも極めて有効ではあったものの、相談を受ける側の体制に比べて相談者が少数であったことは、事業実施後の支部役員会議においても今後何等かの改善が必要であるとの結論に至りました。そこで、次年度の相談会開催には広報の改善策として、相談会場には県内各市の福祉制度などの幅広い情報が得られるノートパソコンやタブレットなどを設置すること。ピラの配置の対象には広く県内の病院やリハビリ施設を加えること。県内各市の広報にも掲載を依頼することなど広報作業を改善することにしました。

以上

## 2、平成23年度支部総会の開催

開催日	平成24年6月23日(土)
場所	フォーラム246会議室
併催	1、スポーツ吹き矢大会 2、懇親会

支部定例総会	出席者	14名
	委任状提出者	43名
	合計	57名

### 「資格審査」

平成25年度4月1日現在の支部会員数は108名であり、会則第10条2項による総会成立の定足数は55名以上となり、今総会は成立しました。

### (総会議事)

議長の選任を諮り、川崎協会の北島総美さとみさんを選任し、議事の審議へと進めました。妻屋事務局長、町田財政部長より平成23年度事業と平成23年度決算報告及び路川みどり会計監査の監査報告が行われました。

### 第1号議案 平成23年度事業報告

- (1) 脊髄損傷者のピアマネジャー現認研修会の開催報告
- (2) 東日本大震災支援金10万円を拠出の報告
- (3) 平成23年度支部総会の開催報告
- (4) 定例役員会の開催 第205回から第210回までの6回
- (5) 支部会報「やわらぎ」の発行 第86号、第87号の2回
- (6) 支部忘年会の開催報告
- (7) 共同募金活動への参加 相模原市役所、厚木駅前、横浜駅西口の3か所
- (8) 第10回全国総会熊本県大会出席 山崎支部長、路川服支部長の2名
- (9) 平成23年度第1回臨時総会出席 東京目黒
- (10) 関東ブロック会議長野県大会出席 山崎支部長はじめ4名が出席
- (11) 協会活動報告 川崎、横浜、県央の各協会報告
- (12) その他の活動報告 県内の各関係機関への参加活動報告

### 第2号議案 平成23年度決算報告及び監査報告

- (1) 貸借対照表
- (2) 収支決算書
- (3) 平成23年度監査報告書
- (4) 付属 地区協会決算報告書

以上、平成23年度事業報告、平成23年度決算報告及び監査報告を一括審議の結果全会一致で承認されました。

また、第3号議案の平成24年度活動方針及び、川崎、横浜、厚木、相模原市の4か所の公共施設においてピアサポート相談会の開催などの事業計画および第4号議案の平成24年度予算案は支部提案通り全会一致で承認されました。

第5号議案の公益法人移行の他の支部代議員及び補欠の選出の件について

は、県内の全会員に対して5月28日付けで公益法人移行に伴う代議員候補及びその補欠の立候補受け付けの通知を行いました。その結果立候補の届け出がなかったことから本総会で改めて次のように代議員及びその補欠を全会一致で選出しました。

代 議 員	補 欠
山 崎 昇	宝子山 正 博
赤 城 喜久代	町 田 安 男
路 川 十九夫	路 川 みどり
澤 藤 充 教	北 島 総 美

### (1) 「スポーツ吹き矢大会」の開催

平成24年度支部総会に併せて開催された恒例のスポーツ吹き矢大会は、13名が参加して競技が行われ、それぞれ豪華賞品獲得を目指しました。

スポーツ吹き矢は、とくに上肢に障害のある方でも、吹き矢の筒を支える台を利用することでハンディを感じることなく互角に競技できるので、参加者全員が楽しめる競技でした。

### (2) 懇親会の開催

支部の懇親会は、会員をはじめそのご家族や友人も参加して相互の親睦を深める目ことを目的に支部総会時に毎年開催しております。

今回も合わせて16名が参加してカラオケやビンゴゲーム、料理を楽しみながら歓談しました。

## 3、定役員会の開催

神奈川支部を運営して34年目を迎えた平成24年度も定例役員会は順調に2か月に1回の割合で計6回開催しました。

役員会には、支部役員が毎回出席して支部活動に関する報告や企画、催事の開催と調整などについて協議を行うなど、支部の運営はすべてこの役員会の合議を経て維持されています。

役 員 会	開 催 日	開 催 会 場
第211回	平成24年 4月15日	相模原市「けやき会館」
第212回	平成24年 6月23日	伊勢原市「フォーラム246」
第213回	平成24年 8月11日	相模原市「けやき会館」
第214回	平成24年10月14日	相模原市「けやき会館」
第215回	平成24年12月24日	伊勢原市「フォーラム246」
第216回	平成25年 2月10日	相模原市「けやき会館」

#### 4、支部会報「やわらぎ」の発行

平成24年度「やわらぎ」の発行は、第88号から第90号までの3回発行しました。

第88号では、川崎協会が主催した脊髄損傷者の内科的諸問題について、神奈川リハビリ病院の水口正人先生講演によるセミナーの内容を詳しく掲載したほか、支部主催によるピアマネジャー現認研修会で社会福祉法人「りとらいふ」の片桐公彦理事長の講演「関東で大規模震災が発生した場合」を掲載しました。また、第90号では、同じく川崎協会主催のセミナー「薬って何だろう」知っておきたい薬の知識について、川崎市薬剤師会副会長による講演内容他を掲載しました。

\*やわらぎ第88号……………平成24年5月12日発行

\*やわらぎ第89号（総会議案書）……………平成24年6月6日発行

\*やわらぎ第90号……………平成25年2月23日発行

#### 5、セミナー

「交通バリアフリー化はどれだけ進んだか」の開催

講 師 神奈川県立保健福祉大学非常勤講師 藤井直人先生

開催日時 平成12年12月24日（月）14時から16時30分

会 場 フォーラム246

出席者 26名

併 催 支部忘年会

内 容

国土交通省の平成22年度末の都道府県別移動円滑化基準適合車両の導入状況調査によると、神奈川県の乗り合いバスの総数は4,184台。

基準適合車両（ワンステップバス）数は3,444台でそのうちノンステップバスは1,604台となっていて、その導入率は適合車両が82.31%でノンステップバスは38.34%と国全体の目標を大きく上回り、高水準の導入率となっています。しかし、神奈川県内であっても横浜や川崎市、相模原市など大都市以外はバスのバリアフリー化が遅れ、自宅から駅まで、駅から目的地までのアクセスの連続性がなく、結果的にはバリアフリー化された鉄道を利用することができないのが現状です。

お招きした藤井直人先生は、パワーポイントを示しながら詳しく現状の交通バリアフリー化の進捗状況について講演を戴きました。

##### (1) 支部忘年会の開催

セミナーと併催した支部忘年会は、同じくフォーラム246で行われ会員やそのご家族、友人など合わせて23名が和気あいあいと美味しい食事をいただきながらカラオケやビンゴゲームを楽しみました。

## 6、共同募金活度に参加

赤い羽根の共同募金は、民間社会福祉事業やボランティア・市民活動をはじめとする地域での支え合い活動を支援する資金となるとともに募金活動を通して市民に助け合いの心を普及する大きな意義を持っていると言われています。支部では、毎年この活動に参加しています。

昨年度は、10月1日に横浜駅西口で妻屋他1名が参加。10月3日は厚木駅前で路川副支部長他3名が参加。10月11日は相模原市役所前で赤城副支部長他20名が参加しました。

## 7、全国総会青森県大会出席

全青連の第11回全国総会は、6月1日から3日までの日程でホテル青森において開催され、全国から23支部が出席しました。

支部から、山崎支部長、路川副支部長、南悦子さんが出席しました。

あの東日本大震災から1年2ヶ月が過ぎ、現在もなお大きな被害を受けた多くの人々の心の傷は癒えることなく苦難が続いている中で青森県大会となり、一日も早い復旧と復興を祈念する大会でもありました。

折しもこの大会では、一般参加者もお迎えして「東日本大震災復旧・復興」を支援するため岩手県の阿部容子支部長、宮城県の三浦支部長、福島県支部の比佐あとむさん、大濱副理事長、妻屋理事長らによる「災害時における障害者の避難とその後の生活について」をテーマにしたシンポジウムが開催されました。

総会は、23年度事業報告、決算報告、監査報告、24年度事業計画および予算案、公益法人への移行申請を目指すための進め方についてなどの審議が行われた後、監事の佐藤祐作氏が逝去されたことに伴う、後任の選任が行われ、支部長の山崎昇さんが正式に監査役に選任されました。

その後大会スローガンの採択と次期全国総会を富山県で開催することを決め全国総会は終了しました。

## 8、第35回関東ブロック会議東京大会出席

関東地区の神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、埼玉県、長野県、茨城県の各支部が一同に会して、障害者福祉制度やバリアフリー環境の問題点などについて意見交換と情報交換と親睦を兼ねて毎年持ち回りで開催しています。

東京大会は、9月9日、第一ホテル両国で開催され支部から山崎支部長、路川関東ブロック会長はじめ8名が出席しました。

今大会では、たんの吸引と医療的ケアのシンポジウムが行われ、主に呼吸器を利用している当事者と制度面を管轄している厚生労働省の担当官の

講演があり、たんの吸引についての問題提起や感染症予防技術の向上などについて制度面の説明がありました。

また、平成25年度のブロック会議は千葉県支部の主催で開催されることが決まりました。

## 9、脊損のピアマネジャー現認研修会に出席

開催日 平成25年1月27日(日)

会場 茨城県 ホテルレイクビュー水戸

主催 (社)全国脊髄損傷者連合会 関東ブロック会

主管 (社)全国脊髄損傷者連合会茨城県支部

支部出席者 山崎支部長・路川副支部長の2名

プログラム

- 1、講演 「在宅で行えるマッサージとデモストレーション」  
(株)フレアス・シニアトレーナ 若林寛茂・矢野司
- 2、演習 相談者の支援計画と記録のとり方  
相談者2名 A者36歳 脊髄損傷  
B者31歳 膠原病

日本損害保険協会助成事業として全脊連が全国規模で毎年開催している関東ブックでの脊損のピアマネジャー現認研修会は、言うまでもなくピアサポート活動を行う上で必要な技術と資質の向上を目的としていますが、各支部での活動がもっと普及されることが大切であり、研修会の内容をさらに改善する必要があるのではないかとする参加者の意見もありました。

## 10、障害者用自動車の無料点検サービスの実施

手動装置の付いた障害者用自動車は、移動制約者である私たちの行動範囲を無限に広げてくれます。しかし、装置の点検をはじめオイル交換やタイヤ周りなど自動車自体の点検は、安全運転をするうえで不可欠となります。支部では神奈川県内の障害のある人の移動を支援する目的で、JAF神奈川県支部と(株)ニッシン自動車工業の協力による無料で行う点検サービスを毎年1回神奈川県リハビリテーション病院の駐車場をお借りして実施しています。

昨年度は、全脊連の会員から26台。厚木市身障協から23台の計49台が点検サービスを受けました。

点検にはJAF神奈川県支部からは21名のスタッフ。また、(株)ニッシン自動車工業からは、開発されたジョイスティック車の展示が行われるなど8名のスタッフが点検に当たりました。

## 11、各協会報告

24年度は、川崎、横浜、西湘の各協会がそれぞれ催事を開催し、会員

の皆様にご案内し参加者を募りました。

### {1} 川崎協会

「薬って何だろう…」～知っておきたい薬の知識～研修会開催

開催日 平成12年11月25日(ひ)  
会場 川崎市国際交流センター  
講師 社団法人川崎市薬剤師会 中村良夫副会長  
参加者 38名  
懇親会 28名

脊髄損傷者は、尿路感染や褥瘡等の発生リスクが高いとともに加齢による疾患も多く、薬の使用頻度が増加していく実情がある中で、薬剤についての基本的な知識を得ていただくため薬剤師を行使にお招きして研修会を開催しました。

### {2} 横浜協会

毎年恒例となっている横浜協会の催事は、昨年度も山下公園乗船場からマリニルージュで約1時間横浜港を一周しあと、中華街ふらーり散策しておなかをすかせた後に萬珍楼でお食事と言うプログラムですが、残念ながら参加者少ない状況で開催しました。

「横浜港クルージング&萬珍楼で食事会」の開催

開催日 平成24年10月26日(金)  
クルージング参加者 …… 8名  
食事会参加者 …………… 17名

### {3} 西湘協会

「グラウンドゴルフを楽しもう!!」の開催

開催日 平成12年10月5日(金)  
場所 南足柄運動公園  
参加者 13名(内千葉県支部から2名参加)

午前9時30分から2ラウンドを楽しみましたが、その結果第1位に優勝は、城ノ上貴美恵さん、2位は千葉県の松田さん、3位は明比さんでした。

## 12. その他の活動

- 1、赤城副支部長は、神奈川県福祉サービス運営適正化委員会委員に推薦され6月7日、3月7日の適正化委員会に出席しました。
- 2、7月17日、神奈川県社会福祉協議会研修会「東日本大震災を受けた防災計画の見直しと当事者団体活動に学ぶこと」に山崎・妻屋が出席。
- 3、山崎支部長は、7月17日に開催された県社協の第2種・第3種正会員連絡会に出席しました。
- 4、路川副支部長は、3月8日、3月18日、9月15日、12月12日、3月6日

に開催された神奈川県社会参加促進センターの会議に出席しました。また、9月1日のスポーツ吹き矢、9月12日と22日の歩行訓練に参加しました。

- 5、澤藤川崎協会長は、川崎市身体障害者協会の役員に就任しました。
- 6、10月6日・7日の日程で長野県佐久市長土呂で開催された、第6回グラウンドゴルフ大会長野県支部長杯争奪戦に支部から4名が参加しました。
- 7、山崎支部長は、1月25日に開催されたJAF神奈川支部の交通安全実行委員会に出席しました。小田原東インターに歩道がないため歩行者や自転車が危険だなどの意見を発表しました。

以上